

年 組 名前：

甲府市立小学校児童数
※カッコ内は児童数前年度比。
▼はマイナス。5月1日現在

小学校	児童数	
新紺屋	170	(9)
湯田	106	(▼1)
伊勢	264	(6)
朝日	135	(▼6)
里垣	215	(▼21)
相川	290	(▼11)
国母	318	(7)
貢川	358	(▼24)
千塚	323	(5)
池田	377	(▼7)
北新	149	(▼1)
代連	18	(2)
甲玉	285	(▼1)
山諸	613	(▼30)
(山城分校)	1036	(▼8)
大里	0	(0)
東	486	(▼20)
羽黒	305	(▼4)
石田	332	(▼8)
新田	232	(▼5)
大田	77	(▼2)
舞鶴	434	(1)
中道	311	(▼5)
(桜木分校)	73	(▼1)
中道北	1	(1)
善誘館	150	(8)
合 計	159	(8)
	7217	(▼108)

児童数 最少の7217人

25年度 6割超の学校で減



甲府
山本 桑原
清水 久美子
方善

市教委学事課によると、児童数の内訳は、男子3618人、女子3599人。25年度学級の拡大や特別支援学級の増加により、学級数は前年度に比べ7多い406学級となった。前年度より減少したのは17校（63・0％）で、玉諸が30人、貢川が24人、里垣が21人、大里が20人減った。増えたのは、新紺屋9人、中道北・善誘館が各8人、国母7人などだった。市は児童数が少ない千代田について、17年度から要件を満たす場合に、07人減少した。

一方、市立中学校13校（分校含む）の生徒数は、3643人（男1888人、女1755人）で、前年度より107人減少した。

甲府市立小学校27校（分校含む）の2025年度の児童数（5月1日現在）は、24年度より108人少ない7217人で、統計が残る1973年以降で最少となった。前年度を下回るのは19年連続。6割以上の学校で減った。最も多かったのは山城で1036人（前年度比8人減）、最も少なかったのは千代田で18人（同2人増）だった。

（桑原久美子）

学区外から児童を受け入れる制度を導入。本年度は学区外から4人が入学し、18人中15人が学区外からの児童となった。湯田では23年度から、一定の要件で児童数の多い山城小学校から入学できる制度を導入している。本年度は2人が入学した。

市内の児童数は、1980年の1万9243人をピークに減少傾向。2004年度に1万人を下回り、20年度には8千人を割っている。市教委は「最多の山城などが減少に転じたが、市南部はリニア中央新幹線の駅整備に伴う発展が見込まれ増加傾向が続く」と分析。「引き続き適正化を進めていきたい」としている。

（2025年8月21日付 山梨日日新聞16面）

問1

甲府市立小学校の児童数が、年々減少しています。2025年度は、ピーク時の何%ですか。

.....%（小数点第2位を四捨五入）

問2

児童数は減少しましたが、学級数が増加した理由を答えてください。

.....

問3

児童数が減少することは小学校にとって、どのような影響がでると思いますか。
あなたの考えを答えてください。

.....

.....